

災害時の後方支援体制は



浅沼 幸雄 議員

【質問】沿岸地域大規模災害時の後方支援基地として総合防災センターの設置を進めるとともに、消防団・婦人消防協力隊及び住民ボランティア等による後方支援体制を確立する必要はないか。また、遠野消防署と同じく老朽化が進んでいる宮守出張所は今後どうなるのか。

〔市長〕2月18日開催の防災フォーラムIN遠野を通じて、後方支援基地としての認識を共通のものとした。今後は国・県への提案型プロジェクトとして取り組む。また、今後に向けて消防団の他市町村への活動支援を考慮した資器材や装備の充実と併せ訓練等を通じて、後方活動支援体制の確立も図る必要がある。宮守出張所の庁舎も老朽化が進んでおり、宮守総合支所周辺の整備と併せて検討していかなければならないと考えている。

【その他の質問事項】

- ・小中学校の少人数学級について。

市長の政治姿勢について



佐々木 譲 議員

【質問】医師確保の進め方についての新聞報道が議会提案前であったことから、予算審議について議会との整合性を欠いたのではないか。

〔市長〕市民医療整備室を立ち上げ、医療関係者と真剣に議論を重ね、遠野として望ましいあり方を示した。手順の問題で配慮が足りなかったことは、先の議員全員協議会で申し上げた。

【質問】大出小中学校跡地利用について新聞報道で初めて知ったことは現在学習が行われている時期に、児童・生徒や保護者・地域民にとって心情的にいかがなものか。

〔市長〕学校の閉校が決まっている中で住民の熱い思いがあることは承知している。4月以降も現在の校舎が活用されるのだという安心感を持っていただくためにも、利活用策について検討を進めている。

【その他の質問事項】

- ・中学校再編と地域懇談会の総括は。
- ・各種学力検査について。
- ・養護学校について。
- ・給食センターの整備計画内容は。

妊産婦無料健診の拡充を



石橋 達八 議員

【質問】スポーツ全国大会を誘致、開催することでスポーツ拠点づくりを推進できないか。

〔市長〕競技施設や宿泊等、受け入れ態勢の問題などあるが、新たな視点に立ち、検討する。

【質問】中心市街地以外の商店の活性化がコンパクトシティの面からも求められる。振興策があるか。

〔市長〕4月1日に商工会の合併もあるので新遠野商工会を通じて各商店街の主体的な取り組みを支援する。

【質問】子育てを支援する施策が求められている。その一つ、妊産婦の無料健診が現在2～3回になっている。妊娠期間中、約13～14回程度受診するため、市外の医療機関に通う妊婦にとって大きな負担と思われる。拡充を求める。

〔市長〕妊婦の無料健診を増やすことで検討している。

【質問】安心して子育てができる居住支援策を示せ。

〔市長〕子育てのしやすい住環境はどうあればよいか、県公舎の空き家の活用等、子育てや高齢者への提供の方策も検討する。

協働による地域づくりは



菊池 充 議員

【質問】宮守町における地区センターの再編について、遠野市総合計画では地区センター機能の強化をうたっているが、市民協働による地域づくりを推進するため、今後、宮守町の達首部地区や鱒沢地区にも地区センターを設置する再編の考えはないか。

〔市長〕合併協議の中で宮守は一つとする意向を尊重し

宮守町には宮守地区センターを設置することで取り組みを進めた。宮守町には総合支所と宮守地域まちづくり会議の仕組み、更には活発なPTA活動がある。宮守町のネットワークを市民協働にどのように持っていくか支所を通じて現状と課題を把握し現場での検証をしながら検討していく。

〔総合支所長〕宮守町に地区センターは1箇所であることは合併協議で確認されたが、宮守地区以外では懇談会や地域づくり連絡会議、宮守の市民の声としても設置要望が出されている。合併協議の内容を尊重しながら連絡会議の中でも検討し、今後議論していく必要があると考える。